

新学期、目標と習慣

茗溪塾塾長 長谷誠基

春期講習も終わり、通常授業が始まったところです。小学校6年生は初めての合不合判定テストがあり、中3は合同特訓がありといよいよ受験学年だなと意識されていると思います。

春期講習では「やり直し」勉強のやり方を学びました。その日に解いた問題をその日のうちにやり直すことで身につけていくこの勉強は、続けていくことで定期試験の勉強だけでなく、受験勉強でも最も大切な学習になります。少しずつでも構わないので継続していきましょう。

小6受験コースでは「四科のまとめ」が導入され、毎日テストを行いました。「四科のまとめ」は非常にまとまりの良い教材で基礎を繰り返し勉強するのに適したものです。夏までには1回終了させ、夏休みにもう一度繰り返すことで弱点を減らすことができるでしょう！入試まで何度でも学習してください。

4月に入り、いよいよ学校でも新学年のスタートになります。新しいクラスや先生で新たな気持ちで頑張ろうと思っているでしょう。この時期は新学年のガイダンス等もあり、初めのうちはそこまで授業進度は早くないものです。ですから、ここが前学年の復習をする一番のチャンスになります。でも量が多いし何からやればいいのかわからない、という人もいます。その場合は、テストを活用しましょう。例えば春期講習の最終日にテストを行ったクラスは、とにかくそのテストで間違えた問題をやり直せばよいのです。間違えた問題をできるようにすることが結局は実力を上げることになります。今後ともテストの間違い直しは必ず、早いうちにやりましょう。また、この時期は模擬試験がある場合もあります。模擬試験も同様にできるだけその日のうちに一度やり直しておきましょう。

模擬試験の場合は結果が出た後に、必ず確認してほしいのが正答率の一覧です。その中で正答率の高い問題で間違えている問題は、その子の弱点である場合が多いので、次のテストまでに必ずできるようにする必要があります。模擬試験の結果が返ってくるとどうしても合格判定に目が行きがちですが、これをやっておかないと模擬試験を受ける意味が半減してしまいます。偏差値をあと〇〇上げるという目標よりも、正答率が□□%以上の問題をできるようにしようという目標の方が、子どもたちには具体的で何をやればよいかははっきりします。模擬試験を受けたときは必ずこれをするをお願いします。

各学年の目標に向かって新たな気持ちで学習に向かうチャンスの時期です。「やり直し」勉強を習慣にして、学力を着実につけていきましょう。